

指定管理者モニタリングレポート（令和2年度）

作成日 令和3年6月24日

施設名	太田宿中山道会館	
所在地	美濃加茂市太田本町3丁目3-31	
指定管理者	名称 特定非営利活動法人宿木 代表者 理事長 佐光 重廣 住所 美濃加茂市太田本町 3 丁目 3-31	
指定期間・選定方法	令和元年度～令和5年度	任意指定
モニタリングの実施方法等	期初・中間・期末各モニタリングについて、太田宿中山道会館において理事長、理事及び事務局長と面談の上実施	
担当課（問合せ先）	商工観光課（観光振興係 内線257）	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために国や県の要請に応じて休館にしたり、予定していたイベントを中止したり、食堂の営業についても営業時間や密を避けるため席数を減らしたり昨年同様、社会全体に外出自粛気運が高まり、年度来館者数が昨年度比で大きく減少する結果となりました。

今後の運営も昨年と同様に、コロナウイルス対策を徹底した上で、新たな施設との連携の強化を行い、多様な利用者層を獲得するための企画等を期待したい。

① 経営分析に関すること

一般会計の事業収支は約 302 万円（繰越含む）で前年を上回りましたが、支出における事業費の減少（新型コロナウイルス感染症対策のための事業の中止・縮小）であり、前年度の繰越金が多かったためであり、自主財源の確保や集客及び魅力発信事業の充実を図った上で適正な収支とすることが必要と思われる。

一方、施設の特性に合わせた飲食・物販による収益事業会計は新型コロナウイルス感染症対策による4～5月の休業や時短営業や収容人数の制限など例年通りの運営が難しかったと思われる。そのような状況であっても例年どおり一般会計へ繰入を行え、財政安定化に寄与できたことはよかった。

② 事業計画・実施事業に関すること

春のまつり、盆踊り大会など大型の集客イベントについては新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。展示会などの小規模のものも新型コロナウイルス感染症対策のための制限の間を縫い、感染症対策をしっかりと行い実施出来たものがあった。

しかしながら新型コロナウイルス感染症対策で、多くのイベントの延期・中止などあったが、利用者の安全、従業員の安全を考えた適切な対応であった。

③ 経理に関すること

特に問題等は見受けられないが、コロナの影響で事業に対する支出は減るが、人件費や光熱水費などの固定経費はかかってくる。収入が見込めなかったため厳しい状況であったと思われる。

キャッシュレス決済用の口座を開設するなど適正管理につとめていた。

④施設管理に関すること

施設に関する各種保守点検、消防防火訓練、建物内外の日常清掃及び定期清掃等、法定業務や協定に定められた事項についてすべて実施されていた。

今年度も昨年度に引き続き冬にヒレンジャクが飛来し、写真愛好家など本来の会館利用者以外の来館者が増えて混雑する期間もあったが、中山道駐車場への誘導や一般利用者との区分等について掲示物を活用して案内しており、大きな混乱や苦情もなく、安全な施設管理がなされていた。

⑤サービスに関すること

新型コロナウイルス感染対策の国や県の休業や時短要請、人数の制限、アルコール消毒やパーティションなど必要に応じた対策を行い、来客や従業員の健康管理に努めた。

非常に制限が多い運営となったが、休業ではなく少しでも来客者を受け入れるように対応された。

⑥その他

新型コロナウイルスに関しては状況が日々変化しているが、市と連絡を密にして常に模範的かつ適切な対応がなされている。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和2年度)

総合評価	B
------	---

実施日 令和 3年 6月 18日
担当課 商工観光課

対象施設	太田宿中山道会館	選定方法	任意指定
設置目的	観光情報等の発信と地域交流推進の拠点		
指定管理者名	特定非営利活動法人宿木	指定期間	令和元年度～令和5年度

総括	B	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	2年度	評価
① 経営分析	事業収支(円)	891,272	439,730	221,202	1,579,262	△298,571	B
	利用料金比率(%)	0.90	0.70	0.55	0.46	0.27	C
	人件費比率(%)	38.57%	38.03%	38.52%	38.71%	38.46%	B
	外部委託費比率(%)	8.01%	7.69%	7.86%	7.58%	9.02%	B
	利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	368	397	435	445	652	B
	利用者1人当たりの市負担コスト(円)	164	161	181	197	308	B
	施設1㎡当たりの利用者数(人)	117	110	99	99	62	B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

②実施事業に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか	B		B	事業計画に基づき、新型コロナウイルスに係るイベントの中止も含めて各種事業を適切に実施している。
2	収支計画との整合性はあったか	B		B	支出において施設事業費での不執行額が多く、施設管理費が予算額を大幅に超過している。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか	B		B	コロナのための国や県の要請による臨時休館等はあるものの、平常時は適切に運営されている。
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に整えられていたか	B		B	円滑な運営に必要な人員を確保している。
5	公共性・公平性が保たれていたか	B		B	公共性・公平性は保たれていた。
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか	C		C	新型コロナウイルスの影響で、紙での利用者アンケートが実施不可となって以降、代替の方法でのアンケートが実施されていない。
7	自主事業は適正に実施されていたか	A		A	展示会等の開催だけでなく、SNS を活用したクーポン配布等、集客のための独自の事業を新しく行っていた。

③経理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	指定管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか	B		B	決済の区分による必要な口座を適正に管理されていた。
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか	C		C	新型コロナウイルスの影響により、学習普及事業が実施されなかった。
3	支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか	B		B	適正に関されていた。
4	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか	B		B	帳簿の適正管理体制は整えられている。
5	現金は適正に管理されていたか	B		B	金庫で保管し、暗証番号は正職員2名のみで管理。また1日に2度現金の確認を行っている。

④施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	必要な保守点検が適正に行われている。
2	清掃は確実に行われたか			B	日常的な清掃に加え、委託による定期清掃を年2回実施
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	正職 2 名で管理。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			B	緊急連絡網を作成している。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	経路が物品等で妨げられている状況はなかった。
6	備品は適切に管理されていたか			B	老朽化により使用できなくなった備品について市に報告するなど、適正な管理が行われていた。
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか			A	基本協定に示す駐車場を適正に管理していたことに加え、自己防止のため区画線の見直し等を行っていた。

⑤サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			A	トイレのウォシュレット化をはじめ、利用者の要望に応えたサービス向上が確認できた。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	軽微な苦情はあるが、全てのスタッフが適切に対応できるよう、内容は理事会等で共有されている。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	寄せられた苦情および対応については、紙面にまとめられていることを確認。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	ホームページでは定期的に、お知らせ・イベント情報等が更新されている。
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			B	適正に行われた。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			B	例年行っていた紙面でのアンケートは実施されなかったが、利用者の声(意見)がサービスに反映されていた。
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			B	アンケート結果に軽微な指摘はあるが、概ね問題ないものと思われる。
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか			B	展示室の証明の LED 化など中長期的に経費節減になる施設整備が行われていた。

⑥その他		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開は適正に行われたか			B	施設管理にかかる情報管理等適正に行われた。
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			B	職員の個人情報などは金庫で保管している。
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	コンポスト設置により、食堂での生ごみ排出をゼロにしている。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	各種保険に継続して加入
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか			B	除菌スプレー等の設置や、必要な呼びかけなど適切な感染症対策が行われていた。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がされていたか			B	厳しい運営状況のなか収益事業の食堂営業を短くしたり、勤務時間の調整をしてもらう等の対応がされた。
7	地域との連携・協働は図られたか。まちづくりに配慮した事業を推進したか			B	地域住民の重要なコミュニティー施設としても機能し、中山道界隈の市民団体、事業者等とうまく連携している。
8	市と連絡を密にしていたか			A	各種イベント実施や修繕の報告及び相談、新型コロナウイルス関係など市と綿密に連絡をとり迅速に対応した。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入／収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率(%)	人件費／支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計／支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないか評価できる。
◆利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者1人当たりの市負担コスト(円)	市の支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設1㎡当たりの利用者数(人)	延利用者数／延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

※過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

指定管理者管理運営状況調査

1. 指定管理者・施設の基本情報

令和3年6月24日

指定管理者名	特定非営利活動法人宿木	担当課	商工観光課
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	選定方法	任意指定
施設名	太田宿中山道会館	施設の種類	観光施設
所在地	美濃加茂市太田本町 3 丁目 3-31		
設置根拠条例等	太田宿中山道会館の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	観光情報等の発信と地域交流推進の拠点		
実施事業	太田宿中山道会館の運営		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	3,745.76 ㎡			駐車場 台数	20 台		
	内借地面積	㎡	契約期間			借地料		
建物	設置形態	市所有	契約期間			賃借料		
	建物の内容	事務室・物産販売・飲食コーナー・展示室・市民活動スペース等						
	主要な建物の 建築年月	平成 18 年 3 月			取得 時期			
	延床面積	865.98 ㎡		構造	木造		階数	2
	耐震基準	新基準	耐震 診断	不要	耐震 補強	不要	Is値	
	バリアフリー化 状況	実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者 用トイレ	その他
			無	無	有	無	有	
	大規模修繕 実施状況							
	留意事項							

3. 管理・運営の現況

開館日数	261 日	休館日	月曜・年末年始	開館時間	9:00～17:00
職員数等 管理体制	常勤2名 非常勤13名(うち厨房職員10名)				

4. 施設の維持管理コスト等

市の 収 支 状 況	(単位:千円)		2年度	元年度	30年度	29年度	指定管理導入前
	支 出	支出総額	16,592	16,910	15,433	15,416	
		人件費	1,575	1,575	1,575	1,575	
		維持補修費	876	299	255	247	
		減価償却費					
		光熱水費					
		委託費・指定管理料	14,080	14,740	13,000	13,000	
		賃借料					
		その他	61	296	603	594	
	収 入	収入合計	0	0	0	0	
		使用料・手数料					
		その他業務収益					
		業務関連収益					
指定 管 理 者 の 収 支 状 況	(単位:千円)		2年度	元年度	30年度	29年度	28年度
	支 出	支出合計	35,177	38,295	37,165	37,890	37,292
		人件費	7,783	8,027	7,498	7,482	7,277
		事業費	1,536	2,840	2,930	3,399	3,098
		維持補修費	2,054	415	171	202	237
		光熱水費	1,631	2,294	2,217	2,333	2,218
		保守点検等委託費	2,810	2,521	2,554	2,518	2,612
		自主事業支出	18,820	21,842	21,319	21,550	21,283
		その他	543	356	476	406	567
	収 入	収入合計	34,879	39,874	37,385	38,330	38,184
		指定管理料	14,080	14,740	13,000	13,000	13,000
		利用料金	94	183	206	267	343
		自主事業収入	16,088	23,925	23,497	24,349	24,194
		その他	4,617	1,026	682	714	647

5. 施設の利用状況

		2年度		元年度		30年度		29年度		指定管理導入前
開館日数		261日		306日		307日		306日		
利用件数										
利用者数		53,933人		85,963人		85,359人		95,521人		
定員										
部 屋 別 稼 働 率	名称				平日	%		土日祝	%	
	午前	%	午後	%	夜間	%		計	%	
	名称				平日	%		土日祝	%	
	午前	%	午後	%	夜間	%		計	%	
	名称				平日	%		土日祝	%	
	午前	%	午後	%	夜間	%		計	%	

6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	展示事業	利用者数等	700
	事業内容	ウチョウラン展		
	事業名	展示事業	利用者数等	650
	事業内容	秋の盆栽展		
	事業名	展示事業	利用者数等	500
	事業内容	愛岐老鴉柿同好会盆栽展		
	事業名	展示事業	利用者数等	500
	事業内容	盆梅展		
	事業名	展示事業	利用者数等	500
	事業内容	ユキワリソウ展		
	事業名	体験教室	利用者数等	32
	事業内容	太田宿で体験ブラッシュアップセミナー、モニタリングツアー、得するまちのゼミナール		
特記事項				

7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	
コスト面	
利用者数・稼働率	
事業実施状況	
地域との協働等	
その他	